

手術部

1 構 成 員

	平成 27 年 3 月 31 日現在	
教授	0 人	
准教授	1 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
助教（うち病院籍）	2 人	(2 人)
診療助教	0 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	4 人	
その他（技術補佐員等）	1 人	
合計	8 人	

2 教員の異動状況

栗田忠代士（准教授） H10.4.1～H19.3.31 助手；H19.4.1～H21.1.31 助教；

H21.2.1～H24.2.29 講師；H24.3.1～ 現職

森田耕司（助教） S53.4.16～H19.3.31 助手；H19.4.1～現職

木村哲郎（助教） H23.5.5～現職

3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 26 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	1 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	1.45	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	1 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	1 編	(0 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	3 編	(2 編)
そのインパクトファクターの合計	1.12	

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. Kurita T, Morita K, Sato S. Evaluation of near infrared spectroscopy for detecting the beta blocker-induced decrease in cerebral oxygenation during hemodilution in a swine model. J Clin Monit Comput [Epub ahead of print]; 2015 [1.45]
インパクトファクターの小計 [1.45]

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(2-1) 論文形式のプロシーディングズ

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. 森田耕司、石野直巳、竹内秀人： 手順指示型の手作業支援システムの使用経験、手術医学 36(1):40-42, 2015
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(2-2) レター

(3) 総 説

(4) 著 書

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. 森田耕司： 第1章コンピュータの基礎、日本医療機器学会 MDIC 標準テキスト編集委員会、MDIC 標準テキスト、医療情報（2014・第5版・改定）、日本医療機器学会、東京、pp.3-42、2014.
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

(5) 症例報告

- A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの
1. 木村哲朗、御室総一郎、鈴木明、牧野洋、佐藤重仁、庭山雅嗣： 星状神経節ブロックの効果判定における携帯型近赤外線分光法測定器の有用性 ペインクリニック. 36(1):97-100. 2015 [0]
 2. T Kimura, T Katsuragawa, S Sato: Awake postural change to prone in a morbidly obese patient. Journal of Anesthesia, Epub ahead of print, 2014, [1.12]

3. 木村哲朗、五十嵐寛、川島裕也、水野香織、谷口美づき、牧野洋、佐野秀樹、加藤孝澄、佐藤重仁：術後創部痛の治療中に同一神経域に発症した帯状疱疹の1症例. ペインクリニック vol.36 No.2:p199-201 [0]

インパクトファクターの小計 [1.12]

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの（学内の共同研究）
 C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

4 特許等の出願状況

	平成26年度
特許取得数（出願中含む）	0件

5 医学研究費取得状況

（万円未満四捨五入）

	平成26年度
(1) 文部科学省科学研究費	2件 (170万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0件 (0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	1件 (100万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	0件 (0万円)
(6) 奨学寄附金その他（民間より）	0件 (0万円)

(1) 文部科学省科学研究費

- ・ 基礎研究(C)（研究代表者） 「短時間作用性β遮断薬の脳の酸素化への影」 平成26年度～平成29年度 平成26年度140万円
- ・ 挑戦的萌芽研究（研究代表者） 「心拍周期の最大変動量は輸液応答性閾値を示す 平成23年度～平成26年度 平成26年度30万円

(2) 厚生労働科学研究費

(3) 他政府機関による研究助成

- ・ 平成26年度経済産業省「産学連携評価モデル・拠点モデル実証事業（モデル実証事業）、モノづくり企業×医科大学「メディカルフォトンクスを基盤とするはままつ医工連携拠点モデル：「工程効率化、品質改善を目的とした作業支援システムの構築と効果研究」、平成26年度、1年、100万（浜松医科大学配分研究費）

(4) 財団助成金

(5) 受託研究または共同研究

6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表，総括

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	2 件
(3) 学会座長回数	0 件	0 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	0 件
(6) 一般演題発表数	2 件	

(1) 国際学会等開催・参加

- 1) 国際学会・会議等の開催
- 2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演
- 3) 国際学会・会議等でのシンポジウム発表
- 4) 国際学会・会議等での座長
- 5) 一般発表

口頭発表

ポスター発表

1. Kimura T: The McGRATH MAC is useful when inserting a probe for transesophageal echocardiography. Euroanaesthesia 2014, スtockホルム (スウェーデン)
2. Kimura T: Subarachnoid hemorrhage decreases isoflurane requirement in mouse model of intracranial aneurysm. Anesthesiology 2014, ニューオーリンズ (米国)

(2) 国内学会の開催・参加

- 1) 主催した学会名
- 2) 学会における特別講演・招待講演
- 3) シンポジウム発表

1. 森田耕司: JAMS とともに歩んだ高機能患者シミュレータ (HPS)の 10 年とこれからの展望
第 10 回日本医学シミュレーション学会学術集会 2015.01.11-12 京都市
2. 森田耕司: 医療機器産業の発展に学会は何ができるのか、小規模 (ニッチ) 産学連携への取り組み、第 89 回日本医療機器学会大会、平成 26 年 6 月 12-14 日、朱鷺メッセ (新潟市)

- 4) 座長をした学会名

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

- ・ 日本静脈麻酔学会、評議員 (森田耕司)
- ・ 日本医学シミュレーション学会、評議員 (森田耕司)
- ・ 日本医学シミュレーション学会、高機能患者シミュレータ代表世話人 (森田耕司)

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数 (レフリー数は除く)	0 件	0 件

9 共同研究の実施状況

	平成 26 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成 26 年度
産学共同研究	2 件

1. ローランド DG(株)、平成 26 年度経済産業省「産学連携評価モデル・拠点モデル実証事業（モデル実証事業）」
2. モノづくり企業×医科大学「メディカルフォトニクスを基盤とするはままつ医工連携拠点モデル：「工程効率化、品質改善を目的とした作業支援システムの構築と効果研究」

11 受 賞

12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

13 この期間中の特筆すべき業績、新技術の開発

14 研究の独創性、国際性、継続性、応用性

15 新聞、雑誌等による報道

1. 2次元コードで手術器具を管理、日本経済新聞、平成 26 年 8 月 15 日
2. 最先端医学間近に、岩田南高生浜松医科大学で実習、静岡新聞、平成 26 年 8 月 19 日